

「珈琲とエンピツ」の主人公である太田辰郎さんとの出会いのおかげで、私は聞こえる人と少しずつ話せるようになりつつあるけれど、本屋やレストランなどのお店では、店員から何か言われても分かったふりをして、やり過ぎしてきました。「私は耳が聞こえないので、書いてもらえますか」と言うのと相手が聞こえないという言葉に驚き、一瞬時が止まるのが嫌だったからです。しかし、ある日、分かったふりをしてはダメだと思い、行動に移しました。まず、図書館。返却する時に、延長して借りたい本もあったので、カウンターで「これは返して、こちらは借ります」と声で伝えました。すると、中年の女性が何か言いました。内容が分からなかったなので、「私は耳が聞こえないので、書いてもらえますか」と思いついて伝えました。すると、案の定一瞬時間が止まりましたが、女性は「あ、という顔で」「7月23日まで借りられますが、一旦返しますか」と丁寧に書いてくれました。私は笑顔で「はい」とうなずきました。

次はツタヤです。あるDVDを借りたかったけれど、探しても見つからなかったので、カウンターでDVDのタイトルを書いたメモを渡して「これありますか」と声で聞いてみました。学生らしいバイトの女子が「検索してみますね」とパソコン画面で検索してくれました。探していたDVDが見つかり、何かを言いましたが、口を読み取れなかったので、「私、耳が聞こえないので書いてもらえますか」と声と身振りで伝えました。すると、「はい」と笑顔で紙に書いてくれました。「見つかりましたので、カウンターまでお持ちしてよろしいですか」として、持ってきてくれました。とてもいい感じの女性だったので、「ありがとう」の手話もつけて伝えました。学生さんだったら、小中学校の福祉実践教室などで「ありがとう」という手話を学んだことがあるかも、と思いつつながら。

AYAKO IMAMURA ESSEY

世界は優しくささやく

- sounds so beautiful everyday -



photograph by Koji Matsumoto

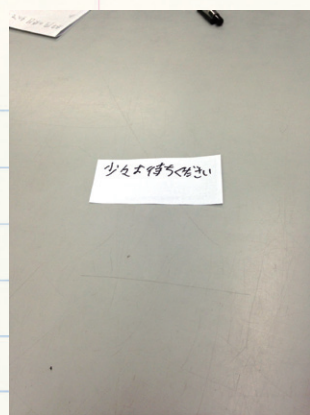
トすると、身振りで「お持ち帰りですか」と聞いてきたので、「ここで」と人差し指を下に向けて伝えました。「5分お待ちください」と、片手を開いて「5」と身振りで伝えて番号を渡しました。筆談ではなく、身振りで伝えるのは島国の日本人にとってはハードルが高いので、おっ！慣れているなあと思いました。

次はブックオフへ。買い取って欲しい本を15冊ほど持って行きました。カウンターにいた大学生らしいメガネのニキビ顔の男子が、袋を両手に持った私を見かけると、わざわざ出てきて持ってくれました。何かを言いますが、分からず、聞こえないことを伝えました。カミングアウトを何回かして成功すると自信が出てきて、分からないままやり過ぎすよりも、相手の話の内容が分かった方がいいということが分かってきたので、躊躇したり、気後れしたりすることもなく普通に聞くことができました。番号の札を渡そうとしていましたが、放送で呼び出しても私の耳には届かないことを察したのか、「18時にここにきてください」と書いてくれました。オッケーと指で作ったうなずき、店内をまわりました。別

の学生らしいバイトの男子が私の姿を見て、すぐ応対してくれました。土曜日で客が多く、カウンターには持ち込まれた本が山積みされるほど忙しいのに、ちゃんと引き継がれていると感動しました（応対する人が変わるとき、私が聞こえないことを伝え忘れていた場合もあり、再度カミングアウトすることも結構ある）。それだけではなく、前もって書いたメモを次々と見せてくれたのだ。「鑑定が終わりました。1190円になりました。これでよろしいでしょうか」

「身分証明書を見せてください」
「少々お待ちください」
彼は今日カミングアウトした人の中で、字はあまり上手とは言えず、表情豊かな人ではないですが、細やかな気持ちで、すこく伝わってきて、うれしかったです。

カミングアウトすると一瞬時が止まるけれど、慣れてくると気にならなくなってきました。私は今までの一瞬止まる時間が苦手で、分かったふりをし続けてきましたが、逆に私が外国人から英語で道を尋ねられたらちよつと戸惑います。それと同じだと思うと、だんだんカミングアウトする勇気が不



今村彩子 いまむら・あやこ

名古屋出身/Studio AYA代表
愛知教育大学卒業/大学在籍中にカリフォルニア州立大学ノースリッジ校に留学し、映画制作・アメリカ手話を学ぶ。東日本大震災直後、宮城に向かい、被災者ら取材する。全国各地で講演・上映活動もこなしている。主な映画「音のない3.11」「珈琲とエンピツ」。『架け橋〜きこえなかった3.11』が今年6月にドイツ・フランクフルトで開催される日本映画専門映画祭(ニッポン・コネクション)で上映予定。